

1. Course Description

我々柔道整復師が存在する医療業界の環境は、医療提供の場などで日進月歩の変化が見られます。国民の医療に対するニーズは安心して質の高いものを重視するようになりました。そんな変化の中で我々柔道整復師にも一層質の高い画像読影が求められています。柔道整復術の適応において獲得した知識を駆使し、臨床現場にての判断をよりの確にできる画像読影能力を身につける。また、そのことは安全に柔道整復術を行うために必要な医用画像の理解である。

2. Course Objectives

柔道整復の現場にて利用されている「超音波画像診断装置」の理解を主に医用画像機器の基本的原理や画像の特性を理解する。

類似疾患の鑑別要旨を各症例ごとに理解する。安易な判断にて危険性が高まることをしっかりと理解する。
外部講師(診療放射線技師)による専門的な学習をする。

3. Grading Policy

課題レポート(70%), 講義への参加態度(30%)

4. Textbook and Reference

5. Requirements(Assignments)

教科書がありませんので授業ごとの復習は1時間程度必要です。

6. Note

画像等を授業時間に紹介します。スマホ等での撮影を厳禁とします。

遅刻・早退・無断での教室への出入り、授業中の飲食・私語は禁止する。常に臨床家としてふさわしい服装・言動を心掛けること。授業の前後に号令をかけていただきたい。授業の妨げ及び他の学生の邪魔になるとと思われる学生は退室してもらう。

7. Schedule

- [1] オリエンテーション
施術適応の判断
類似疾患
- [2] 末梢神経損傷・外出血を伴う損傷
- [3] 意識障害・脊髄症状・呼吸運動障害を伴う損傷
内臓損傷の合併損傷・高エネルギー外傷
第1回講義からのまとめ
- [4] 医用画像
X線の診かた
- [5] デジタル画像
X-CTの診かた
- [6] 核磁気共鳴
MRIの診かた
- [7] 第4回講義から第7回講義のまとめ
ゲストスピーカーによる講義(診療放射線技)
- [8] 超音波画像装置の概要
運動器の構成体のみえかた
ゲストスピーカーによる講義(診療放射線技)
- [9] 超音波画像装置での手指の診かた
- [10] 超音波画像装置での手関節診かた
- [11] 超音波画像装置での肘関節診かた
- [12] 超音波画像装置での肩関節診かた
- [13] 超音波画像装置での下肢診かた
- [14] 超音波画像装置での下肢診かた
- [15] 超音波画像装置での診かたのまとめ